

国連制定「ホロコースト記憶の国際デー」記念事業

国内初公開 東京と広島で1月同時上映

新しく発見された父の手紙を元にしたドキュメンタリー映画

「アンネの日記 第三章 ～閉ざされた世界の扉」

ナチスの迫害を逃れて隠れ家に身をひそめた少女アンネ・フランク。自由、平等、平和に生きたいと願い、アンネが書き続けた日記は今も世界中の人々の心を動かしています。

この度、アメリカで発見されたアンネの父オットーの書簡をもとにして映画が作られました。アンネや無数の子どもたちを追い詰めた世界の無関心が大きなテーマの一つになっています。

NPO法人ホロコースト教育資料センター(東京)では、本作品を日本の、特に学生たちに観てほしいと考え、監督より上映許可をいただき、日本語字幕を制作し、1/26(木)に早稲田大学で上映いたします。

オットー・フランク氏との出会いをきっかけとして設立されたホロコースト記念館(広島県福山市)では、1月28日(土)に上映会が行われます。

1月27日は、オットー・フランク氏がアウシュヴィッツ収容所から解放された日であり、国連が制定した「ホロコーストの犠牲者を想起する国際デー」です。ホロコーストの歴史は、国や民族の枠をこえて、全ての人々に差別や偏見の愚かさを警告しています。

「なぜ人間は、おたがいに仲よく暮らせないのだろう」70年以上前のアンネの言葉は、今を生きる私たちに真っ直ぐに投げかけられています。一人ひとりの命が尊重される、寛容な社会をつくりだすため、歴史から学ぶ機会にしたいと考えています。ぜひ取材のご協力をお願い申し上げます。

東京 1/26(木) 17:30 - 20:00

会場: 早稲田大学 26号館地下 多目的講義室
(東京都新宿区戸塚町 1-104)

対象: 高校生、大学生、80名 **入場:** 無料

申込方法: ホームページから受付中

<http://npokokoro.wixsite.com/auschwitz72>

広島 1/28(土) 14:00 - 15:30

会場: ホロコースト記念館(広島県福山市御幸町中津原 815)

対象: 高校生以上、100名 **入場:** 無料

申込方法: メール又はお電話で受付中。

詳しくはホームページ参照。

<http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn/>

【東京会場】共催: イスラエル大使館、早稲田大学千畝ブリッジングプロジェクト(東京会場)

後援: 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター、ドイツ大使館、ポーランド大使館、オランダ大使館

作品介绍 アメリカ、NYのイーヴォ研究所で2005年に、アンネ・フランクの父オットーの書簡が発見された。それは、ナチスの迫害から逃れるために、アメリカへの移住の道を必死に模索していたオットーの涙ぐましい努力を伝えるものだった。「どうか娘たちだけでも・・・」オットーは友人を頼って、窮状を訴え続けた。しかし当時、世界の国々はユダヤ難民を受け入れようとはしなかった。オットーは行き場がないことを悟り、最後の手段として、オランダ、アムステルダムに隠れ家に家族とともに潜伏する。1944年夏、隠れ家が見つかり、家族全員アウシュヴィッツへ送られる。そして、1945年、アンネはドイツのベルゲン・ベルゼン収容所で死亡。本作品は、アンネの家族でただ一人生還した父オットー、スイスに逃れた従兄バディ・エリヤス、義姉のエヴァ・シュロツスらの証言を通して、ホロコーストの教訓を今を生きる私たちに投げかける。原題: No Asylum: The Untold Chapter of Anne Frank's Story、監督: ポーラ・フォース、制作: Paradise Filmworks International、アメリカ、2015年

国連とホロコースト ホロコーストの歴史は全ての人々に、差別や偏見、憎しみの恐ろしさを警告しているとして、国連は2005年に総会決議を採択し、アウシュヴィッツ強制収容所が解放された1月27日を「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」と定めた。この決議は、加盟国に対して、ホロコーストの歴史を教育の場でとりあげることを呼びかけている。日本においても2015年より、この国際デーを記念する教育事業を開催している。

主催&問合せ先

【東京】NPOホロコースト教育資料センター TEL:090-4072-4402 Email:kokoro.org@gmail.com

【広島】ホロコースト記念館 TEL: 084-955-8001 Email:hecjpn@urban.ne.jp